

6 近代日本の苦悩

① ナショナリズム

(1) [1]主義 cf. 鹿鳴館時代の [2]主義 に対する反動

明治21(1888) — 政教社 (『[3]日本人』) … 三宅 [4]

22(89) — 新聞『日本』 … 陸 [5] が中心

27(94) — 日清戦争 (～95) → 愛国心が高まる

ex. 高山 [6] の日本主義

37(1904) — 日露戦争 (～05) → 韓国併合 (明治43 1910)

大正3(14) — 第一次世界大戦 (～18)

昭和6(31) — 満州事変後の [7]主義 (ウルトラナショナリズム)

(2) 国民道徳

1 西村 [8] (『日本道徳論』) … 儒教道徳と西洋思想の折衷

2 [9]勅語 … 忠と孝 (メイン) + 西洋のモラル (サブ) ex. 市民的責任感

∴ 忠 → 国家主義

孝 → 家族主義

cf. 国民 = 天皇の臣民・赤子

② 近代的個人の目覚め

… 前近代的な伝統や家族、集団主義とのせめぎ合いを通して

(1) 夏目 [10] — イギリスへ留学

1 [11]本位、「私の個人主義」

注：エゴイズムを否定する倫理的で人格的な自己・個人

… 人まねでない、自分らしい生き方

∴ 「外的」 (= 受動的) な文明開化を批判

2 近代文学を大成

ex. 『こころ』

3 [12]去私 … 晩年の境地。東洋的な自然さに帰る

ちっぽけな自我を超えた、大いなるもの

(2) 森 [13] — ドイツへ留学 (医学)

1 [14] (レジグナチオン 「あきらめ」)

… 個人と社会のはぎ間で、自己の立場を受け入れる 潔^{いさぎよ}さ

ex. 『舞姫』

2 [15]小説 … 史実に忠実ながらも歴史そのままではない小説。前近代的な封建的束縛の中でこそ、内面的自由や意地を發揮して人間的に生きた武士や庶民を描く

(3) [16]派 … 文芸雑誌「白樺」で活躍した、大正の人道主義・理想主義作家グループ。

ex. 武者小路実篤、有島武郎、志賀直哉